

「木になるフェスティバル」を開催しました

企業支援部 普及連携グループ 品川 学

■はじめに

林産試験場では、例年、木材や科学技術、研究への興味・理解を深めていただくため、施設を公開し、木を使った様々な体験ができる「木になるフェスティバル」を開催しており、これまで多くの方々にご参加いただきました。第33回となる今年度は、昨年度同様に事前申込み制、小学生以下、人数限定で、参加枠を午前・午後各30名増やして各70名とし、7月20日（土）に、対面開催を実施しました。

催事は6件行い、概要は次のとおりです。

①浮いてる？不思議なオブジェを作ってみよう

木材と金物、糸を使ってテンセグリティ構造の模型を作ろう。



②小鳥の鳴き声をする“バードコール”をつくろう！

広葉樹の木片にネジを差し込み、絵を描いて、首から掛けられる「バードコール」を作ろう。ネジを回すと小鳥のさえずりに似た音が出せるよ。



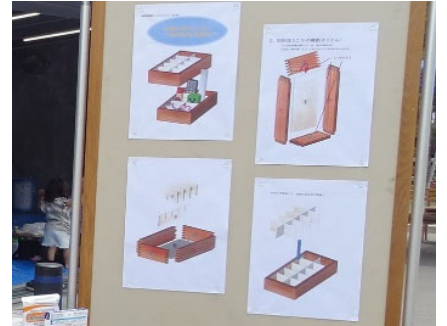
③木のしおり作り

シェービングマシンで作成した木の薄板にリボンをつけてしおりを作ろう。



④小物入れを作ろう！～お母さんも喜ぶ♪～

トドマツ or カラマツ材で、接着剤や金づちを使い、小物入れを作ろう。



⑤北森カレッジの木の校舎で木のコースターをつくってみよう！

小さな木をノコギリで輪切りにしてから絵を描いて、オリジナルコースターを作ろう！

共催：北海道立北の森づくり専門学院



⑥積み木の街

木ブロックを接着剤で貼り合わせ、それを板の上に置いて小さな街の模型を作ろう。

共催：一般社団法人北海道林産技術普及協会



—参加した子供たちの様子—





■おわりに

今回、参加申込は募集した人数に達しましたが、発熱等でキャンセルされる方が出たため、最終的に参加者は午前51名、午後57名、合計108名となりました。

各催事参加後に、参加した子供たちや引率の大人の方々には、アンケートに答えてもらいました。

寄せられた感想については、以下に抜粋して記しますが、皆さん満足できたようで好評でした。

<参加した子供たちから>

- ・木のことを知れたり触れたりできて楽しかった
- ・いろいろな人が優しくしてくれて嬉しかったのと、初めてやったことがいっぱいあって楽しかった
- ・いろんな体験ができてよかったと思ったので、また開いてほしいと思いました
- ・暑くても元気にできました

<大人から>

- ・木に触れ合うことがなかなか無いのですごく良かった
- ・とても楽しくて子ども達がニコニコしていた。将来の進路の一つとして経験できてよかった
- ・優しく教えて頂けて、子ども達も楽しく体験できた

当日は、30℃を超える暑さの中での開催となりましたが、事故もなく無事開催することができました。お越し頂いた皆様、誠にありがとうございました。